グレースと公爵（2001）

L’ANGLAISE ET LE DUC
THE LADY AND THE DUKE

メディア 映画
ジャンル 歴史劇　ドラマ　ロマンス
製作国 フランス
色彩 Color
時間 129分
初公開日 2002/12/21
公開情報 プレノン・アッシュ

【キャッチコピー】
戦わず、逃げもせず、ただ信じていただけ。

1790年、パリ。吹き荒れるフランス革命の嵐の中をしなやかに生き抜いたひとりの英国人女性がいた。

【解説】
　前作で＜四季の物語＞シリーズを完結させたエリック・ロメール監督が、最新のＣＧ技術を用い、油絵の中に実写の人物を合成して描くという斬新な手法で挑み、80歳を過ぎてなお新境地を見せる力作。18世紀末、革命に揺れるパリをしなやかに生き抜いた実在の英国人女性グレース・エリオットの回想録を基に、彼女と一人の男性との波乱の運命を描く。
　1790年、パリ。革命によって貴族文化は崩壊し始めていた。英国人で王党派のグレース・エリオット。彼女はルイ16世を敬愛しつつも、信条の異なる革命派に担がれたオルレアン公爵と、単なる恋愛を超越した信頼関係を保っている。グレースは、王党派が劣勢に追いやられ、自ら危険に晒されても祖国へは戻らず、決してパリを離れなかった。公爵との関係もますます深まっていくが、いよいよルイ16世の処刑裁判が迫る。そしてその前夜、処刑免除を乞うグレースと対立する公爵に決定的な運命の瞬間が訪れようとしていた…。

【クレジット】

監督	エリック・ロメール	Eric Rohmer	
製作	フランソワーズ・エチュガレー	Francoise Etchgaray	
原作	グレース・エリオット		
脚本	エリック・ロメール	Eric Rohmer	
撮影	ディアーヌ・バラティエ	Diane Baratier	
プロダクションデザイン	アントワーヌ・フォンテーヌ	Antoine Fontaine	
出演	ルーシー・ラッセル	Lucy Russell	グレース・エリオット
	ジャン＝クロード・ドレフュス	Jean-Claude Dreyfus	オルレアン公爵
	アラン・リボル	Alain Libolt	
	シャルロット・ヴェリ	Charlotte Very	
	ロセット	Rosette	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.